

福岡市共働事業提案制度 令和4年度実施事業 最終評価

事業名 評価項	No1	
	外国人材受入れ支援事業	
共働のプロセス		A
事業の成果	目的・目標の達成度	B
	市民への効果	B
	共働の相乗効果	B
最終評価		B
講評		<p>コロナ下で活動に制限があったと思うが、複数回のセミナー実施や連携先の拡大などができたことは、高く評価できます。</p> <p>また、市内のネットワークが構築され、問題意識を共有できたことは、とても意味がある事と思います。</p> <p>本事業は、セミナー実施やチェックリスト作成といった取組を経て、今後の課題について行政とNPOがどのような役割を担っていくべきか、次の事業展開に期待します。</p>
令和5年度の状況		独自の共働の形態で実施

○採点の基準

- | |
|---|
| <p>A: 共働の取組、事業の成果が優れている</p> <p>B: 共働の取組、事業の成果がやや優れている</p> <p>C: 共働の取組、事業の成果ともにどちらでもない</p> <p>D: 共働の取組、事業の成果ともに努力が必要である</p> <p>E: 共働の取組、事業の成果ともに不十分で、一層の努力が必要である</p> |
|---|